

抗原定性検査（簡易検査キット）を活用した水際対策事業
 第2弾 検査キットの追加購入について

危機管理室

1. 事業の経過

感染拡大地域から当地域へのウイルスの持ち込みを防ぐための水際対策として、圏域外との往来をされた方や体調に不安を感じている方に対して、第1弾を6月21日から7月16日まで、第2弾を8月4日から来年3月23日までと期間を設定し、簡易検査キットを無料で配布し迅速かつ多くの検査を行うことによる感染防止対策を実施している。

本事業は、検査キットの実用性及び検査キットを活用した水際対策の有効性についての検証としても位置付け、アンケートによるデータ収集を行っている。

2. 第2弾における申し込み状況

(1)期間中の状況

8月4日に配布を開始した第2弾においては、第1弾をはるかに上回る申し込みがあった。これは、第1弾の実施により検査キットの利用について市民に浸透したこと、8月がお盆を含め夏休み期間で帰省される方が多かったこと、全国的な変異株のまん延により当圏域も長野県の感染警戒レベルが5となり市民の危機意識が高まったこと、より正確に検査いただくため2回の検査を推奨したこと等が理由として考えられる。

(2)簡易検査キットの配布状況（第1弾）

期間	個人		団体		合計	
	件数	個数	件数	個数	件数	個数
6/21～7/16						
合計	1,039	3,557	88	1,366	1,127	4,923

配布状況（第2弾）

期間	個人		団体		合計	
	件数	個数	件数	個数	件数	個数
8/4～8/10	2,150	7,940	64	3,162	2,214	11,102
8/11～8/17	832	3,126	28	1,301	860	4,427
8/18～8/24	1,106	4,153	54	2,243	1,160	6,396
8/25～8/31	842	3,195	69	4,044	911	7,239
8月合計	4,930	18,414	215	10,750	5,145	29,164
9/1～9/7	849	3,212	63	3,864	912	7,076
第2弾合計	5,779	21,626	278	14,614	6,057	36,240

3. 今後の配布見込み

(1) 今後の配布見込みにおける月ごとの考慮すべき事項

8月のお盆を含む夏休み期間における帰省、第5波の変異株のまん延状況という特殊事情が考えられたが、今後加味すべき事情は次のとおり考えられる。

9月：第5波の緩やかな収束による陽性者の減少

10月：第5波収束による陽性者の少数安定推移、観光シーズンによる人の移動

11月：気温の下降と乾燥等による第6波陽性者数の上昇

12月：本格的第6波による陽性者の激増、年末による帰省等人の移動の増加

1月：正月の帰省等人の移動の増加、第6波による陽性者の増と緩やかな減少

2月：受験による人の移動の増

3月：年度末における人の移動の増

これ以外に、配布要望を減少させる要因としては、ワクチン接種の進行や治療薬の使用承認等が考えられる。

(2) 今後の配布申し込み予測

以上を考慮し、次のとおり月ごとに配布数を予測する。

月	個数	備 考
9月	17,000 個	第5波の影響、緩やかな収束
10月	6,000 個	第5波と第6波の中間期、観光シーズン
11月	7,000 個	第6波の兆候
12月	20,000 個	第6波による陽性者の激増、年末の人の移動
合計	50,000 個	

4. 予算

・検査キット	37,500 千円	750 円／個×50,000 セット
・事務費	10,064 千円	(印刷費、消耗品費、通信運搬費等)
合計	47,564 千円	

5. 今後の事業展開の考察

9月末にアンケートの集計等を行い、事業全体の方向性、展開について検証を行う。また、県の動向や感染拡大の状況によっては事業の進め方の変更を検討する必要も生じる可能性がある。

- ・アンケート回収数から推測される未使用キットの状況の検証
- ・長野県による検査キットの配布の開始
- ・検査のタイミング誤りや偽陽性等による感染拡大の可能性の検証
- ・企業に対し、検査キットの直接購入の推奨